

市民と議会をつなぐ

市議会だより

SHINJO SHIGIKAI DAYORI

6月定例会

No.173

2026.7.27

歴史と伝統を
未来につなぐ

角沢八幡神社のスギ(市指定天然記念物)

新田川沿い、角沢集落のはずれに角沢八幡神社があり、七所明神と観音様が合祀されています。七所明神は応神天皇の第二皇子である大山守命を祀ったものです。神社の境内の南側に、20メートル四方に根が浮き出ているスギの老木があります。このスギは戊辰戦争で庄内軍から攻め入られて、地区が壊滅的な打撃を受けたときの戦火もまぬがれ、地区の歴史を見続けるとともに、新田川を見守るように堂々たる根張りですびえ立っています。

6月定例会の議案等 P2～3

12人が一般質問 P4～10



新庄市議会HP

6月定例会

初日、6月2日、報告3件を承認、報告6件を受け、人事案件25件に同意、議案1件を原案のとおり可決しました。最終日、6月12日、令和8年度補正予算4件を原案のとおり可決しました。

審議された議案等

種類	番号	件 名	結果
【市長提出】			
報告	第4号	新庄市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
	第5号	新庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	
	第6号	新庄市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	
	第7号	新庄市新型インフルエンザ等対策行動計画について	—
	第8号	一般財団法人新庄市スポーツ協会の経営状況の報告について	
	第9号	令和7年度新庄市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
	第10号	令和7年度新庄市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	
	第11号	令和7年度新庄市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	
議案	第12号	令和7年度新庄市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	可決
	第36号	令和8年度新庄市一般会計補正予算(第1号)	
	第37号	令和8年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	
	第38号	令和8年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	
	第39号	令和8年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	同意
	第40号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第41号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第42号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第43号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第44号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第45号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第46号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第47号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第48号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第49号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第50号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第51号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第52号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第53号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第54号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第55号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第56号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第57号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第58号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第59号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第60号	新庄市農業委員会委員の任命について	
	第61号	新庄市固定資産評価審査委員会委員の選任について	可決
	第62号	新庄市固定資産評価審査委員会委員の選任について	
	第63号	新庄市固定資産評価審査委員会委員の選任について	
	第64号	新庄市固定資産評価員の選任について	
	第65号	財産の取得について	

議案等に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。○→賛成 ●→反対

	会派名	新政・結の会										共に創る市民の会				会派に 属さない 議員		採決結果			
議案等 番 号		小 嶋 富 弥	小 野 周 一	高 橋 富 美 子	佐 藤 卓 也	山 科 正 仁	山 科 春 美	渡 部 正 七	鈴 木 法 学	辺 見 孝 太	鈴 木 啓 太	坂 本 健 太 郎	田 中 功	伊 藤 健 一	今 田 浩 徳	新 田 道 尋	佐 藤 悦 子		亀 井 博 人		
報 告 第5号	新庄市国民健康保険税条例の一部を改正 する条例の専決処分の承認について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠 席	○	○		●	○	承認
議 案 第37号	令和8年度新庄市国民健康保険事業特別 会計補正予算(第1号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠 席	○	○		●	○	可決

※議長は採決に参加しません。

人事案件

6月2日(定例会初日)において同意された人事案件25件をご紹介します。

■農業委員会委員(任期3年)

三原 幸一氏
みはら こういち

小野 仁氏
おの ひとし

下山 秀一氏
しもやま しゅういち

奥山 久氏
おくやま ひさし

長沼 和弥氏
ながぬま かずや

星川 吉和氏
ほしかわ よしかず

奥山 裕氏
おくやま ひろし

森 良一氏
もり りょういち

高橋 綾氏
たかはし あや

笹 行也氏
ささ ゆきや

伊藤 和彦氏
いとう かずひこ

齋藤 秀一氏
さいとう しゅういち

矢口 淳氏
やぐち あつし

笹木 透氏
ささき とおる

松田 浩一氏
まつだ こういち

安彦 栄美氏
あびこ えみ

五十嵐 成生氏
いがらし せいお

中鉢 浩氏
ちゅうばち ひろし

高山 光弥氏
たかやま みつや

高山 正昭氏
たかやま まさあき

芳賀 善洋氏
はが よしひろ

■固定資産評価審査委員会委員(任期3年)

矢口 雅彦氏
やぐち まさひこ

佐藤 正守氏
さとう まさもり

佐藤 正弓氏
さとう まさゆみ

■固定資産評価員

大江 周氏
おおえ まこと

※委員は議案番号順で掲載しています。

受賞者の紹介

6月定例会の初日、佐藤卓也議長が、市政の発展と振興に貢献したことにより、議員15年以上在職による表彰を受けました。また、全国市議会議長会の評議員を務めたことに対する感謝状が贈呈されました。

今後も市政の発展に
ご尽力ください



佐藤 卓也 議長

市政に対する要望・提案への回答

昨年11月に開催された議会報告会でお寄せいただいた市政に対する要望・提案等について、市からの回答がありましたのでホームページに掲載しました。下記の二次元コードよりご覧いただけます。



一般質問

一般質問は、6月3日、4日、5日の3日間、12名の議員が行いました。質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。

ねえ、かむてんおしえて！
一般質問って何？

※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくは各議員の二次元コードから動画をご覧ください。

6月定例会一般質問の質問者と質問事項

渡部 正七

1. 「観光振興によるまちの活性化」について
2. 「指定管理者制度」について
3. 「子どもの体験格差」について
4. 「森林保全の状況」について

辺見 孝太

1. 市役所新庁舎の整備について
2. 新庄まつり実行委員会の新たな組織体制と持続可能なまつり運営について
3. 「まんがの街 新庄」のブランディングについて
4. 回覧板の運用と行政情報の伝達について

田中 功

1. 観光拠点整備と賑わい創出について
2. 未利用公共用地（普通財産）の利活用について

坂本 健太郎

1. 都市計画と市庁舎建設について
2. 林野火災の防止と消防団の活動体制について
3. 市役所におけるカスタマーハラスメント対応について

亀井 博人

1. 市の花アジサイについて
2. 中東情勢について
3. 流雪溝について

山科 正仁

1. 人口減少対策と若者定着について
2. 新庄市立泉田保育所の今後について

鈴木 啓太

1. わらすこ広場について
2. 市道の安全確保について
3. まつり振興基金について
4. 安全安心な通学について

小嶋 富弥

1. 市民が誇れるまちづくりの醸成について
2. 持続可能な行政運営について

山科 春美

1. 多文化共生について
2. 児童虐待対策について
3. 情報モラル教育について

高橋 富美子

1. 高齢者肺炎球菌ワクチンの制度改正に伴う周知徹底と接種率向上について
2. 市民のニーズに応える乳がん検診の選択肢拡大と新たな検査手法の周知徹底について
3. がん予防対策の強化と男性へのHPVワクチンに対する費用の助成について

鈴木 法学

1. 商工業の育成・支援について
2. 観光誘客と情報発信について
3. 部活動の地域展開について
4. 学校区統合について

佐藤 悦子

1. 会計年度任用職員の処遇改善について
2. 子育て負担の軽減と高齢者支援強化
3. 公共施設管理と財政運営について
4. 多面的機能支払交付金の運用について
5. 戦争反対、憲法9条を守って平和外交をという声をあげていこう

一般質問とは、議員が
市政全般のことについて、
執行部に質問することじゃ。



かむてん © 新庄市×富樫義博



わたなべ しょうしち
渡部 正七 議員

適正な森林整備の推進を

教育長 本市では、体験格差の状況を具体的な方法での把握は行っていないが、子どもが様々な体験を通して成長することは重要であると認識しています。一方で、手紙やはがきを書いたことがない子どもが一定数いるなど、時代の変化に伴い社会的体験が少なくなっている課題も見られます。そのような中、学校では、学ば喜びやできる喜びを実感し、社会とのつながりを感じられる教育活動を実践しています。

特に、地域の自然や文化、人々から学ぶふるさと学習は、郷土への愛着や将来を考える力を育む貴重な機会となっています。また、地域学校協働活動や部活動の地域展開など、地域の協力を得ながら体験機会の充実を図っています。

◎物価高などによる経済的事情で、子どもの体験格差が懸念されている。本市の現状と課題をどのように捉えているのか。また、今後の取組等について伺う。

今後とも学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの豊かな体験活動を推進していきます。

◎気象変動による豪雨の増加に伴い山地災害が激甚化・多様化している。本市における森林の現状と課題、今後の林地保全による自然災害対策等について伺う。

市長 森林は木材生産の場だけでなく、地球温暖化防止や水源涵養、土砂災害防止など、多面的な公益的機能を有する重要な社会基盤です。近年は豪雨災害が激甚化・頻発化しており、防災・減災の観点からも森林の適切な整備と保全が重要です。本市では、国・県の補助制度や森林環境譲与税を活用し間伐や再造林、林道整備などを進め、森林経営管理制度に基づく所有者への意向調査も行っています。

一方、担い手不足や所有者不明森林の増加などの課題もあります。今後は、森林環境譲与税を有効活用しながら関係機関との連携を強化し、森林の公益的機能の維持向上と持続可能な森林づくりを推進します。



植樹の様子

質問動画は
こちらから



行政情報の伝達と自治会負担

◎回覧板による行政情報の伝達について、確実な情報伝達と自治会役員の負担軽減をどのように両立していくのか伺う。

市長 現在、市から区長に依頼している業務の一つに、月2回の使送があります。使送の回数については、近年、広報誌の発行を月2回から月1回に変更し、それに伴い使送も月1回とする自治体が増えてきている状況です。

本市でも今後の業務のあり方を検討するため、今年2月から3月にかけて広報誌に関するアンケートを実施しました。16歳から85歳までの市民1000人を無作為抽出して調査を行ったほか、市公式LINEでもアンケート配信により回答を募集し、約740件の回答をいただきました。

その中で、約7割の方が広報しんじょうの発行回数は月1回でもよいと回答しています。

◎情報発信の量を増やす事と情報が確実に届く事は別問題だと考える。回覧板のように一定期間の情報を整理して届ける手法にも学ばべき点があるのではないかとと思うが、公式LINE等の発信に取り入れられないか。

市長 市からの情報発信は、広報誌、市ホームページ、LINEなど様々な媒体があり、それぞれ異なる特性を持っています。LINEは必要な情報を迅速に届ける手段として有効ですが、過去の情報を確認しづらい面もあります。

そのため、LINEによる情報発信とホームページへの誘導を組み合わせるなど、各媒体の特徴を生かした情報発信が重要であると考えています。

必要な情報を市民の皆様へ確実に届けるため、効果的な情報発信の手法について検討していきます。

◎旧北辰小跡地の利活用について市民ニーズを踏まえ、常設のグラウンドゴルフ場としての活用を検討してはどうか。



へん み こう た 議員
辺見 孝太



行政情報を届ける回覧板

質問動画は
こちらから



観光拠点整備と賑わい創出について

◎最上公園整備計画の進捗状況と、新庄まつり山車の表彰台数と年間展示台数を拡大し、観光資源として「山車巡り」等検討できないか。

市長 最上公園は、本丸跡と二の丸跡の2つのエリアに分け、新庄城址としての歴史的価値を大切にしながら、市民に親しまれる公園機能の向上を目指して整備を進めています。現在は二の丸エリアで、新庄ふるさと歴史センター前の駐車場や、もみのき保育園前の広場・園路の整備工事を進めています。

また、山車の常設展示は、展示場所の確保や展示山車の選定などの課題がありますが、新庄まつりを年間を通じて集客できる観光資源とする有効な手法の一つと考えています。展示に加え、山車製作や囃子演奏の体験なども活用方法として検討し、新庄まつりを通年活用できる観光コンテンツづくりを進めていきます。

◎旧北辰小跡地の利活用について市民ニーズを踏まえ、常設のグラウンドゴルフ場としての活用を検討してはどうか。

教育長 旧北辰小学校跡地の利活用については、地域からの要望やエコロジィガーデン周辺地区都市再生整備計画の趣旨を踏まえ、地域交流や地域活動の活性化による賑わいの創出を目的に検討を進めてきました。校舎玄関口の芝生広場や記念碑、けやきの木など、学校の歴史を感じられる要素を活かし、多世代が憩い、交流し、多目的に利用できる広場として整備する考えです。

また、道の駅「新庄エコロジィガーデン原蚕の杜」との連携も見据えており、特定用途に限定した施設ではなく、多様な利用ニーズに対応するため、常設グラウンドゴルフ場として整備する考えはありません。



た な か い さ お 議員
田 中 功



広場として整備する
旧北辰小学校跡地

質問動画は
こちらから

大規模林野火災は絶対防ぐ！

市長 林野火災は、延焼が拡大した場合、消火活動が困難となるほか、住民避難や広域応援が必要となる場合もあることから、本市としても注意すべき災害の一つと認識しています。

林野火災の防止対策として、令和8年4月1日から林野火災注意報及び警報の運用が開始されており、本市では、市報や回覧、公式LINEを活用し、制度の周知を行いました。

本市では、令和7年度までの直近5年間で9件の林野火災が発生していますが、最上郡内では注意報

◎近年、全国各地で林野火災が大規模化・長期化している。本市も森林が多く、乾燥や強風時には火災発生リスクが高まる。ひとたび発生すれば住民生活への影響は大きい。そこで、林野火災に対する本市の認識と、消防団の活動体制や装備、ドローンを活用した情報収集体制の現状と今後の方向性について問う。



さかもと けんたろう 議員
坂本 健太郎



大規模林野火災

出典：総務省消防庁ホームページ

が複数回発令されており、県内でも大規模な林野火災が発生していることから、本市では注意報発令時には公式LINE等で注意喚起を行い、警報発令時には防災行政無線により市民へ周知することとしています。

また、林野火災発生時における消防団の役割は、初期消火活動や現場周辺の警戒、避難誘導などがあり、地域の地理に精通する消防団は、状況把握や安全確保において重要な役割を担っています。

装備面では背負い式消火水のうなど専用資機材の配備を進めているほか、消防団内にドローン部隊を発足させる予定であり、上空から火点や延焼範囲を確認する体制を整備します。

今後も消防本部及び消防団と連携しながら、林野火災に対応できる体制や装備の充実を図るとともに、火災予防の注意喚起を継続し、市民の安全安心の確保に努めます。

質問動画は
こちらから

中東情勢。市の花「アジサイ」。



かめい ひろと 議員
亀井 博人

市長 建設事業などの投資的経費は、物価高騰などを要因とした入札不調は発生しておらず、計画どおり事業を執行しています。

一方で、修繕料や委託料などは、見積合わせの結果、当初予算編成時の想定を上回る金額となる案件も見受けられ、人件費や資材費、燃料費等の高騰が影響していると捉えています。

中東情勢を含めた国際情勢は先行き不透明な状況が続く、物価上昇も継続すると考えられるため、その推移や国の動向等を見直し、必要に応じて補正予算等に対応し、事務事業の円滑な執行に努めます。

また、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格や物流費の上昇により、市内事業者の経営にも影響が及んでいるものと認識しています。

◎中東情勢の影響で石油関連製品の指定ごみ袋の不足等があり臨時的に対応中です。投資的経費や財政、地域経済への影響について伺います。



東山「あじさいの杜」

特に、製造業や運輸業、小売業などへの影響が想定されるため、今後の動向を注視し、国や県の支援策等の情報を収集しながら、必要な対応を検討します。

◎アジサイが市の花に制定され40年以上が経過。市民生活が潤いに満ち、多くの人が新庄を訪れるように、約7万株の植栽を見直すことも必要ではないでしょうか。

市長 最上公園の場所に応じた植栽については、「あじさい園」の中で生育が悪い場所があることも認識しており、その原因を確認しながら、今後の植栽や補植をしたいと考えています。

また、東山の「あじさいの杜」の整備において花の色や品種、配置などを工夫して見映えが良くなるように植栽をしていましたが、土壌により花の色が年々変わることがあります。色彩の変化や品種ごとの形状などを含め、見る人にアピールできる配置など研究が必要と考えています。

質問動画は
こちらから



若者が選ぶ新庄市の道標



やましな まさ ひと
山科 正仁 議員

◎人口減少と若年層の市外流出が進む中、若者に選ばれるまちづくりや雇用・子育て環境の充実による定住促進策について市長の考えを伺う。

市長 「働く場の創出」については、本市では総合計画の見直しと並行して、令和8年3月に「新庄市産業振興ビジョン」を策定しました。市内企業へのニーズ調査に基づいた本ビジョンの指針に則り、付加価値の高いものづくりや産業界と教育機関との連携などを強力に推進し、魅力的な職場環境へのアップデートを加速させます。また、起業や事業承継への伴走支援を行い、若者の「挑戦の場」を創出します。

「子育てへの支援」については、小中学校の給食費や子どもの医療費などの経済的負担の軽減や、育児・子育てに関する相談体制を強化することで精神的負担を軽減し、子どもを安心して生み育てられるまちの実現を図ります。さらに、新庄まつりをはじめと

する豊かな地域資源を教育に取り入れ、次代を担う子どもたちの郷土愛を育むことで、将来的な地元回帰への強い心の絆を形成していきます。

◎地域の子育てを支える泉田保育所について、現状の課題や将来的な保育需要を踏まえた今後の方向性と地域に根ざした保育の維持について伺う。

市長 これまで公立保育所整備計画に基づき、中部保育所の整備を優先して進めてきました。泉田保育所の今後の方向性は、さらに進行する少子化の状況や、本市全体の将来的な保育提供体制の確保といった観点を踏まえて検討する必要がありますと考えています。

まずは現在抱えている諸課題を整理し、市民や民間立保育事業者など関係者の意見を聴きながら、整備の方向性や運営方法、定員規模なども含め、今後のあり方などを検討したいと思います。



泉田保育所の今

質問動画は
こちらから



持続可能な新庄まつりへ

◎各町内だけで対応が難しい事態に備え、まつり振興基金に一定程度の残高を確保しておく考えがあるか、市長の見解を伺う。

市長 新庄まつり振興基金は、新庄まつりがさらに発展し、地域の活性化を図るため、平成元年にふるさと創生事業の一環として4500万円が基金に積み立てられたものです。

これまでの基金の主な使途として、平成6年から平成22年までの新庄まつり運営費や文化財保護管理費のほか、平成17年の新庄まつり250年祭や10年後の260年祭などに活用しました。

令和元年や令和4年には地域企業から多くの寄付金が寄せられ、新型コロナウイルス対策や物価高騰対策として各若連への補助金を増額するための財源として活用しました。

こうした経緯を踏まえ、急激な物価高騰など各町内の自助努力だけでは対応が困難となった

場合に、本市が対応を検討できる一定程度の基金残高の確保は重要と考えています。令和8年3月末現在の基金残高はこれまでに最も少ない約477万円です。今後は、基金の安定的な収入源を確保できるよう、情報収集や研究を進めながら仕組みについて検討していきます。

◎近年の猛暑など通学環境の変化を踏まえた、スクールバスの距離基準の見直しの検討状況について伺う。

教育長 スクールバスの距離基準の見直しには、昨今の気象状況を踏まえ、年々高まる気温に対し、熱中症リスクを回避するために必要な距離の基準について調査を進めており、距離基準を変更した場合に想定される課題の洗い出しや、必要となる経費の調査なども同時に進めています。

児童生徒の安全安心な通学環境の確保に向け、距離基準の見直しは引き続き検討していきます。



すずき けいた
鈴木 啓太 議員



夏の一大イベント



おじま とみや 小嶋 富弥 議員

職員の働き方改革と行政運営について

◎職員の働き方改革や業務のアップグレードの基盤となるインターネット接続端末の現状と、業務の特性に合わせたタブレットの最適配置を図り、職員へ貸与する考えがないか伺う。

市長 本市の庁舎内ネットワーク環境は、「マイナンバー利用事務系」「LGWAN接続系」「インターネット接続系」の3系統に分離されており、総務省が推進した三層分離の考え方に基づく高いセキュリティ水準を確保しています。職員が主に利用するLGWAN接続系端末では、電子メールや生成AI、チャットツールによるスマートフォン連携が可能となっており、業務の利便性向上が図られています。さらに、本年度中にはLGWAN接続系端末から安全にインターネット閲覧を行うためのソフトウェアを導入し、端末更新と併せて業務効率化を進める予定です。



職員の働く環境の整備を

を活用した現地調査の効率化や省力化を実現しています。今後は、持ち運び可能な端末や外勤先で利用できる端末について、各課の業務内容や必要台数、端末の種類等を精査した上で導入を検討し、更なる業務効率化を図ります。

◎職員の働き方改革と、行政運営の適正化を図るための窓口の時間短縮は検討中とのことだが、率直な意思決定について再度伺います。

市長 窓口業務の時間短縮は、働き方改革や業務改善、時間外勤務の縮減に有効である一方、市民サービスの利便性や満足度への配慮が必要と認識しています。現在、市民の来庁目的や利用時間等の調査を実施しており、その結果を基に課題整理を行うとともに、先行自治体の事例も参考にしながら、対象業務や短縮時間について検討を進めます。

質問動画はこちら



誰もが活躍できるまちづくりを！

◎人口減少が進む中、働くために来ている外国人も増えていて今後増加すると思われますが、課題も含め多文化共生についてどのような推進していくお考えですか。

市長 本市では、多文化共生に向け、出前講座において在留手続きやマイナンバーカードの取得方法、相談窓口の案内などについて外国語パンフレットを活用して説明しているほか、必要に応じて外国語表記の注意書きをこみステーションへ掲示するなどの取組を行っています。

また、令和7年度から開始された「協力確認書」制度により、特定技能外国人を雇用する企業には自治体を実施する共生施策への協力が求められています。本市としても、こうした企業の協力を得ながら、外国人住民が安心して暮らし、働くことができる環境整備を進めます。



やま しな はる み 山科 春美 議員

◎SNSのトラブルが若年化していますが、情報の「公開性」「記録性」を理解し、被害者は勿論加害者にならないために小中学校での情報モラル教育の取組について伺います。

教育長 全学年の道德の授業を通して、インターネットやSNSとの適切な関わり方、個人情報等の取扱い、情報モラル等について発達段階に応じた指導を行っています。また、ICT支援員や警察署、消費生活センターなどの関係機関と連携し、児童生徒や教職員、保護者を対象とした研修や講話を実施しています。

これらの取組みにより、子どもたちの情報モラルに対する意識は高まっていますが、家庭との連携強化が課題と認識しています。

今後は、児童会・生徒会による自主的なルールづくりを推進するとともに、PTA活動等を通じて保護者への啓発を継続し、ネットトラブルや無断課金等の防止に努めます。



3月1日に行われた地域リーダー講座

質問動画は
こちらから



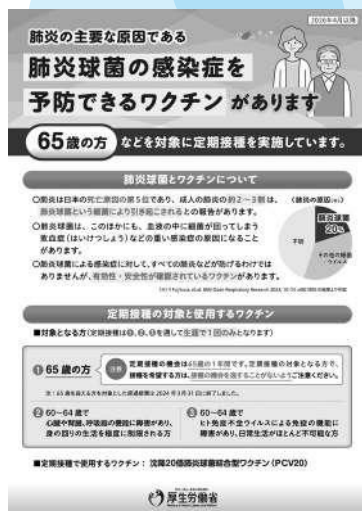
高齢者肺炎球菌ワクチンの周知を

市長 昨年度中に65歳になった方で、66歳になる前の対象市民のうち、未接種の方に対し個別に通知し、周知を行いました。また、3月末までに市内委託医療機関に対し、ワクチン変更に関する資料とともに助成額の変更について周知を行っています。

◎本年4月からの高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種における使用ワクチンの変更に伴い、対象となる高齢者や医療機関に対し、どのような周知を行っているか伺う。



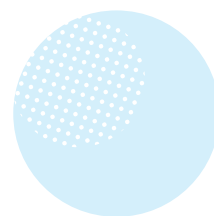
たかはし ふみこ
高橋 富美子 議員



肺炎球菌とワクチンについてのチラシ
出典：厚生労働省ホームページ

市長 乳房を圧迫することがなく、痛みを伴わない検査として、実施可能な医療機関が県内に数か所あると認識しています。本市の乳がん検診についてはマンモグラフィ検査を実施していますが、40歳代の方は乳房超音波検査も追加可能となっています。そのため、ご本人が正しい情報を得たうえで、自身の希望に合わせて、乳がん検診の種類を選択することができるよう、周知を行っています。

◎無痛MRI乳がん検診という新たな選択肢が受診可能であるという旨を明確に掲載し、周知を徹底することで自分の体質やニーズに合わせて検診を選べる環境づくりが必要と考えますが、いかがでしょうか。



質問動画は
こちらから



若い世代が挑戦し、活躍できるまちに！

◎主要事業である「チャレンジ創業・若者創業支援事業」と「中心市街地活性化事業」を踏まえ、市長の商店街に望む想いとビジョンを伺う。

市長 第5次新庄市総合計画では、若い世代が地元で挑戦し、働き、暮らし続けられる環境づくりを重要な施策として位置付けています。

現在、中心市街地では、空き店舗の増加や人の流れの変化などにより、以前と比べ環境が大きく変容しています。そのような中、新庄市産業振興ビジョンにおいても、「若者がやりたい・やりがいのある職場や仕事の創出」を重要な視点として掲げ、若い世代による新たな創業やチャレンジが、まさに新しい活気と人の流れを生み出す大きな力になると考えています。

「チャレンジ創業・若者創業支援事業」や「中心市街地活性化事業」につきましては、単に店舗を増やすだけではなく、若い世代が地

域と関わりながら、自らのアイデアや想いを形にできる環境づくりにつなげることが重要であると認識し、事業化したものです。また、商店街についても、人が集い、交流し、新たな挑戦が生まれる「まちの拠点」として、官民が将来像を共有しながら、再生と活性化に取り組みます。



新庄駅前の
「チャレンジショップ」

◎部活動の地域展開に関する「新庄市認定地域クラブ」への財政支援について今後のスケジュールを伺う。また、財政支援の見込み総額はどの程度か伺う。

教育長 新たに創設された国の補助制度を活用し、今定例会において総額約830万円の補正予算を計上しています。

今後のスケジュールは、本補正予算可決後、認定地域クラブに対し補助金申請のための説明会を開催し、交付申請手続き等を経て、夏頃を目途に補助金交付を予定しています。



すずき ほうく
鈴木 法学 議員

質問動画は
こちらから

会計年度任用職員の処遇改善を

市長 会計年度任用職員の給与改定及び一時金の支給月数などの処遇については、正職員や県内他自治体との均衡を考慮して決定しています。本市の会計年度任用職員の給与水準は、県内他市と比較しても高い水準にあることから、給与の遡及改定については見送ったところです。

なお、期末勤勉手当の支給月数についても、これらを勘案し、本市の再任用職員と同様の支給月数としています。

◎会計年度任用職員の給与改定は正職員に準じて行うことになっているのではないかと。総務省の通知もあり、郡内町村は、正職員と同じ取扱いにしているのでは。



さとう えつこ 議員
佐藤 悦子

新庄市の職員状況2026年4月現在

		男性	女性	合計
正職員		161人	115人	276人
会計年度任用職員 フルタイム	退職金 あり	2人	0人	2人
会計年度任用職員 パートタイム	退職金 なし	37人	126人	163人

(新庄市総務課の資料による)

市職員の4割が会計年度任用職員

市長 下水道使用料のあり方については、令和7年11月13日に上下水道事業運営審議会より、市民生活への影響に配慮しつつ、適正な使用料水準となるよう18・2%の引上げを目的とした見直しの答申をいただいたところであるため、審議会の答申を尊重しながら、下水道使用料の見直しの検討を進めます。

なお、一般会計からの繰り入れのみで値上げを止めることは考えていません。

◎下水道使用料を来年度から18・2%値上げするのはやめるべきだ。一般会計からの繰り入れを続けられ抑えることができる。大型公共施設建設よりも住民生活を守る方が大事ではないか。

議会報告会が変わります

新庄市議会では、議会改革の一環として議会報告会のあり方を見直しています。

これまでの議会報告会は、予算や決算、議会活動の報告を中心に行ってきました。市民の皆さんへ議会の動きを分かりやすく伝えることは、今後も大切にしていきます。

そのうえで、これからは「報告して終わり」ではなく、市民の皆さんとの対話を出発点に、常任委員会ごとの政策提言へつなげる場として位置づけていきます。

市民の声を聞き、地域課題を整理し、調査研究を深め、政策提言を行う。その提言が予算化・事業化された場合には、実施状況を確認し、決算審査を通じて成果や課題を検証する。こうした政策サイクルを回すことが、これからの議会に求められる役割です。

市民の声が議会の議論を育て、議会の提言がまちづくりにつながり、その結果をまた市民の皆さんにお返ししていく。その循環をつくるため、議会報告会を新たな形へと進めてまいります。



6月26日開催の議員研修会

総務文教常任委員会 議会報告会

総務文教常任委員会では、政策提言に向けた取組の一環として、新たな議会報告会をテーマ別にSOUNDカードを利用して2回開催しました。テーマは「新庄藩戸沢家の歴史を活かした地域価値の創出」と「不登校への対応を中心とした多様な学びの確保」です。

歴史文化の分野では、戸沢家や城下町の歴史、祭り、文化財、郷土の人物など、本市が有する貴重な地域資源を、観光、教育、まちづくりにどのように生かしていくべきかについて意見交換を行いました。「市民自身が地域の歴史を知る機会が必要」「子どもたちに分かりやすく伝える工夫を」といった意見に加え、今村翔吾さんの作品を契機として新庄の歴史への関心を高め、まち歩きや学校教育、観光案内などへ展開する活用策についても意見が出されました。

不登校への対応では、学校復帰のみを目的とするのではなく、子ども一人ひとりの状況に応じた学びや居場所を、地域全体でどう支えていくかを話し合いました。保護者の不安、相談体制、学校外の学びの場、地域とのつながりなど、制度だけでは捉えきれない切実な声を伺いました。

政策は議員間の議論だけで形づくられるものではありません。市民の皆様の声の中にこそ、地域課題の本質と解決への手がかりがあると考えます。

委員会として、いただいたご意見を丁寧に整理し、これまでの視察や調査も踏まえながら、9月の政策提言に向けて議論を深めてまいります。



日時: 令和8年5月26日(火) 13:30～
場所: 新庄市役所 301・302会議室

産業厚生常任委員会 議会報告会

産業厚生常任委員会では、政策提言に向けた取組の一環として、「子育て世代が日常的に安心して過ごせる居場所・遊び場の在り方について」をテーマに議会報告会・意見交換会を開催しました。

意見交換では、新庄市の子育て環境や子どもの遊び場について、それぞれの立場から活発な意見が交わされました。参加者からは、子育て支援制度や情報発信に関する意見のほか、子どもが自由に遊び、多様な体験ができる環境の重要性や、地域全体で子どもを見守り育てる環境づくりを求める声が聞かれました。

また、既存の公園や遊び場の充実、空き家など地域資源を活用した居場所づくりを求める意見もあり、子どもたちが安心して遊び、成長できる環境について認識を深める機会となりました。

委員会では、今回いただいたご意見を今後の調査・研究に活かし、子育て世代が安心して暮らせる環境づくりに向けた政策提言を行ってまいります。



日時: 令和8年6月23日(火) 13:30～
場所: 道の駅新庄エコロジーガーデン原蚕の社 多目的ホール

市民の声



Bar 13bit 店主 佐藤 圭輔さん



えすさん開催中の様子
(会場:こらっせ新庄)



新庄開府400年記念
闘技大会等の表彰楯



第2回
えすさんカップ表彰式

地域で活躍する皆さまの声を紹介します。

地方でも『面白い』は作れる サブカルチャーから始まる地域づくり

BAR 13bitは、レトロゲームや漫画などを展示した、サブカルチャー色の強い飲み屋です。一人で営業しており、自分の「好き」をそのまま形にしたような店になっています。

また、任意団体「えすさん実行委員会」の代表として、「Shinjo Subculture Summit(通称・えすさん)」を開催しています。eスポーツ、コスプレ、同人即売会などを集めた“サブカルのごった煮”のようなイベントで、昨年と今年の2月に開催しました。今年は新庄市開府400年記念の市民提案事業として関わらせていただき、多くの方に支えられながら実施することができました。

活動の根底にあるのは、「田舎には面白いことがない」という空気を少しでも変えたいという思いです。企画する側の自己満足ではなく、「こういうイベントが欲しかった」と感じてもらえるものを、一市民の目線から本気で作りたくと考えています。まだ小さな活動ではありますが、サブカルチャーという切り口から、新庄市を少しずつ面白く、若い世代が地元で希望を持てる場所にしていけたらと思っています。

9月定例会の予定

9月 1日(火) 請願締切

9月11日(金) 開 会

14日(月) 一般質問

15日(火) 一般質問

16日(水) 一般質問

17日(木) 常任委員会

18日(金) 常任委員会

24日(木) 決算特別委員会

25日(金) 決算特別委員会

30日(水) 最終日

中継あり

中継あり

開会は10時です ◇請願は随時受け付けております。

議会の傍聴について

どなたでも傍聴できます。受付票に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！

パソコン
のほか

スマートフォン・タブレットでも
市議会ネット中継が視聴できます！



市議会
インターネット
中継



新庄市議会 中継

検索



市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロアでも視聴できますので、ぜひご利用ください。
※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

あとがき

6月定例会では、人事案件をはじめ、様々な審議が行われました。議会が扱われる議案等は市民生活に大きく関わるものです。そうした内容を、市議会だよりを通して少しでもわかりやすくお伝えし、身近に感じていただけたら幸いです。

さて、7月下旬となり、市内では新庄まつりに向けた山車製作や囃子などが本格化する頃です。地域の行事やまつり準備など忙しい時期となりますが、暑い日が続きま

(記・鈴木啓太)

議会報編集委員の紹介

委員長 鈴木 法学
副委員長 伊藤 健一
委員 亀井 博人



委員 鈴木 啓太
委員 辺見 孝太
委員 今田 浩徳

■発行/山形県新庄市議会 ■編集/議会報編集委員会

■問い合わせ/新庄市議会事務局 〒996-8501 山形県新庄市沖の町10番37号

TEL 0233-22-2111(内線302・303) 0233-23-5002(直通)

FAX 0233-22-0989 E-mail gikai@city.shinjo.yamagata.jp



環境にやさしい植物油インキを使用しています